

入院診療計画書（頸椎内視鏡の手術を受けられる方へ）

ID番号 @PATIENTID
病名（他に考える病名）

氏名 @PATIENTNAME

様 症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

担当医師 @USERNAME






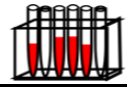

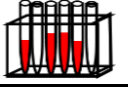
















印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	手術決定から入院まで	手術前日	手術当日（前）	手術当日（後）	術後1日（ / ）	術後2日（ / ）	術後3・4日（ / ）	術後6～8日	術後9日
経過		入院 	手術室に入室します 	術後は病室に戻ります					術後9日 
目標		準備が整い、手術が受けられる状態である			立つ、歩行することができる 	歩行距離をのばしていきましょう 			痛みがなく、通常の生活に近づいたら退院可能です。
検査	全身麻酔の検査をします			帰室後採血があります 	採血があります 		3日目に採血があります 	6日目に採血があります。レントゲン・CT検査があります  	
治療				酸素吸入をします。創の管・尿の管が入ってきます	トイレにいけるようになったら尿の管を抜きます 				
処置		リストバンドをつけます。腕に血液型と名前を書きます	弾性ストッキングを両足に履きます			創の管を抜きます。翌日抜去部を確認します 	歩けるようになったら、弾性ストッキングは外せます	7日目ごろ、創部の観察をします	
観察		体温・脈拍・血圧を測定します		術後1・3・6時間後、以降翌朝までは4時間毎に血圧を測ります。	体温・脈拍・血圧を測定します 	→			
注射			点滴を行います 	抗生剤・痛み止めを投与します	痛みのある時は我慢せず、お知らせください。 	食事が安定したら点滴を終了します			
内服	いつも内服している薬を確認します 	いつも内服している薬を見せて下さい。薬剤師、看護師が薬の確認をします。	医師から指示のあった薬のみ、少量の水で内服します 		くすりの内服を始めます 	→			
食事		医師の指示の時間から絶食になります。時間はわかり次第お知らせします	絶食です（うがいや歯磨きは可能です） 	術後は許可があるまで食べたり飲んだりできません	朝から食事ができます 	→			
行動					体拭きを行います 	シャワーが可能になります 			
説明	手術の準備品の説明をします。普段の生活状況についてお話を伺います	手術の説明があります 		術後の説明があります				退院の説明があります	 お大事に

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (NO. 127) 承認月(平成20年5月9日)

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

続柄：